

平成 29 年度事業報告

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

1 概 況

総務省が発表した平成 30 年 3 月の人口推計によると、日本の人口【平成 29 年 10 月 1 日現在（確定値）】は 1 億 2670 万人で前年に比べ 22 万人減少しています。一方で、65 歳以上の高齢者人口は 3515 万 2 千人と前年より 56 万 1 千人増加し、高齢化が急速に進展する中で就業意欲を持つ高齢者が増えており、シルバー人材センターの担う役割はより重要となっています。

このような中で、「自主・自立」「共働・共助」の理念のもと、会員・役職員が一丸となって高齢者の就業ニーズの変化や多様化に的確かつスピード感を持って取り組みました。特に、従来の請負による就業だけではなく派遣事業にも積極的に取り組み、地域の高齢者に対して就業機会を提供し、高齢者の活躍の場の創出を推進しました。

受託事業では、法令遵守の徹底を図るため、請負就業から派遣就業への形態変更を進めてまいりました。その結果、請負による契約金額は前年より 2.8%減少しましたが、派遣による契約金額は前年より 315.6%の大幅な増加となりました。また、市の広報紙に説明会の日程を掲載したり、公共施設に会員募集のポスターを掲示したところ、説明会への参加者も増え、伸び悩んでいた会員数も中長期事業推進計画の目標を達成することができました。

安全就業においては、新入会員安全研修会、植木・草刈就業会員研修会、一般就業会員安全研修会を開催し、安全意識の高揚を図り安全就業の徹底を推進してまいりました。特に、平成 28 年度に 6 件発生した草刈払機の飛び石等による事故を防止するため、安全適正就業委員会において、対策について繰り返し協議を重ね、安全就業対策のルールを設定した結果、飛び石による事故をゼロにすることができました。

平成 29 年度の事業実績は、次のとおりです。

受託事業による実績

会員数 1,074 人（前年比 69 人）

受注件数 3,825 件（前年比 △99 件）、

就業延日人員 101,912 人（前年比 △804 人）

就業率 81.7%（前年比 △4.1%）、

契約金額 452,702,309 円（前年比 △157,379 円）

派遣事業による実績

会員数 58 人（前年比 32 人）

受注件数 16 件（前年比 6 件）、

就業延日人員 5, 038人 (前年比 3, 695人)

契約金額 24, 163, 532円 (前年比 17, 087, 501円)

2 事業の実施報告

(1) 会員の拡大

会員の口コミによる勧誘やパンフレットの全戸配布を行うなど、中長期事業促進計画の目標を達成するため、積極的な会員拡大に取り組みました。

①一人一会員促進運動を組織的に展開し、入会者の勧誘に取り組みました。(入会者 8名)

②パンフレットの全戸配布を2回実施し、市民に会員募集を呼びかけました。

③鷲宮コミュニティ祭り、久喜市民まつり、わしのみやコスモスフェスタに参加し、パンフレットの配布やパネル展示を行い、シルバー事業のPRを実施しました。

④入会者説明会を毎月2回開催し、会員の拡大に努めました。

(参加者 349名、入会者 213名、入会率 61%)

⑤女性部会主催の、「色鉛筆画講習会」や「いきいき美容教室」を開催し、女性会員の拡大に取り組みました。

(色鉛筆画講習会参加者 25名、いきいき美容教室参加者 35名)

(2) 就業機会の拡大

就業開拓員による積極的な営業活動を行うとともに、会員の就業ニーズに合わせた就業提供に取り組みました。

①就業開拓員が企業を訪問し、就業機会の拡大に努めました。

(訪問述べ 649件、新規企業就業契約 19件)

②会員の就業ニーズに合わせ、就業開拓員による就業紹介に取り組みました。

③毎月2回、就業相談日を設け、未就業会員の解消に努めました。(相談会員 50名)

④機械草刈作業の後継者育成のため、刈払機取扱講習会を開催しました。(参加者 15名)

⑤役員が会員就業先企業へ訪問し、発注者との情報交換による就業拡大に努めました。

(訪問企業 52社)

⑥就業機会の拡大を図るため、就業の基準等に関する要綱を見直し、連続就業の最長5年を平成33年度までに段階的に3年にするための改正をしました。

(3) 安全・適正就業の徹底

安心・安全なシルバー事業を推進するため、安全就業研修を実施し安全就業の徹底を図るとともに、適正就業ガイドラインの配布説明によって会員や発注者に適正就業について

の理解を求めました。

- ①健康管理対策として、健康診断の受診を奨励し、自主的な健康管理を推奨いたしました。
- ②安全適正就業委員による就業現場の巡回指導を毎月実施し、安全就業の徹底を図りました。（実施回数 60 回、100 件）
- ③植木剪定や草刈り作業に従事する会員を対象とした、安全講習を実施しました。（実施回数 3 回、参加者 69 名）
- ④新入会員を対象とした、安全就業研修を実施しました。（実施回数 2 回、参加者 81 名）
- ⑤就業会員全員を対象に、就業中の事故防止や交通事故防止のための地区毎に安全研修を実施しました。（実施回数 5 回、参加者 419 名）
- ⑥草刈払機の飛び石等による事故を防止するため、「カルマー」による標準作業を策定し、チップソー使用の厳格化を徹底しました。
- ⑦地区懇談会参加者に適正就業ガイドラインを配布し、適正就業についての再確認を行いました。
- ⑧既存の発注者に適正就業ガイドラインを配布し、理解を求めました。

（４） 組織運営の強化

「自主・自立」「共働・共助」の基本理念のもと、会員・役職員が一体となり組織的な事業運営に取り組むとともに、円滑な事業運営を推進するため事務体制の見直しにも取り組みました。

- ①理事会を毎月開催し、就業拡大や会員増強などシルバー事業を効果的に運営するための協議を行いました。
- ②女性部会による女性会員を対象とした料理教室を実施し、女性会員の交流を図りました。（参加者 27 名）
- ③事務所移転整備計画を策定し、事務所移転のための準備を開始しました。
- ④事務局の事務改善に取り組むため、業務内容の調査を実施しました。
- ⑤地区懇談会を開催し、意見交換を行い会員との意思疎通を図りました。（実施回数 5 回、参加者 197 名）
- ⑥加須市シルバー人材センター役員との合同研修に参加し、交流を深めるとともに役員としての研鑽を深めました。